

# 2025 年度 自己点検・評価報告書

学士課程教育機構評価分科会

**【最終報告】**

2026 年 2 月

## 学生の意見聴取

主として以下の観点を参考に、今年度の点検・評価および今後の方針を記入してください。

- ピアサポートに関すること
  - ・ ピアサポート活動に従事する中で学び、成長できたと感じていること
  - ・ 今後の活動を継続していく上で、改善すべき点や、もっと力を入れたい点 など
- これまでの学生からの意見聴取を受けて取り組んだ事項について
  - ・ 学生からの意見を受けて検討および実施した取り組み等のフィードバック
- 学生生活全般に関することや機構として意見交換したい事項

### 【1】昨年度の自己点検・評価で課題となった事項および今年度の方針・改善計画

課題：昨年度の学生委員との意見交換において、コロナ禍以前と比較して SPACe や総合学習支援センターの取り組みを認知していない学生が多いことが課題として挙げられた。特に、中央教育棟以外の棟を主に利用する学生に対し、プログラムやサービスを十分に周知できていないという指摘があった。今年度の方針：全学的な認知度の向上、特に他棟を利用する学生層への積極的な周知を重点方針としている。

### 【2】今年度の取組みに関する点検・評価

現状の点検・評価と課題：

- ・ ヘルプデスクの利用者が減少しているという課題が挙げられた。
- ・ その原因として、SPACe 入口のゲートで通過することに対する心理的ハードルや、現在のカウンター配置が銀行の窓口のように堅苦しく、学生に緊張感を与えている。スタッフが教員だと誤解されたり、「予約必須」と思い込まれたりしているケースがあり、気軽に立ち寄れる雰囲気不足しているなどの意見があった。
- ・ 一方で、HELP DESK スタッフからは、他学部の学生やスタッフと関わる機会が増えたことで、コミュニケーション能力の向上を実感している。多様な相談に対応する中で、相手の状況を深く理解し、円滑に会話を進行させる力が身についたなどの前向きな意見もあった。

### 【3】2024 年度の方針・評価に基づいた改善計画

<短期計画（アセスメント実施後 1~2 年の期間で実現可能な改善策）>

- ・ 視認性の向上：学生スタッフであることを一目で認識してもらうため、ユニフォームやベストの着用を検討し、また、カウンターに「相談受付中」を示すサイン（掲示物）を設置し、話しかけやすい環境を整える。
- ・ 広報の多角化：「予約なしの飛び込み利用」が可能であることを明示する。また、Instagram のリー

ル動画などでスタッフの顔を見せ、親しみやすさを伝えるほか、アリーナのプロジェクターを活用した紹介動画の放映を行う。